

プロジェクトにご協力いただき、ありがとうございます。

オーダーメイド医療実現化プロジェクト

発行：平成23年（2011年）2月

バイオバンク通信 研究成果早見版

バイオバンクジャパンは、全国の57の病院でおよそ20万人の患者さんにご参加頂いております。

成果報告シンポジウム

「ゲノム研究最前線 2010 -今後のオーダーメイド医療とは-」 が行われました。

日時：2010年12月7日（火）

第1部「ゲノム研究の最前線を知る」（13:00~16:30）

第2部「公開シンポジウム」（18:00~20:00）

会場：東京・ココヨホール

第1部では、前立腺がん、肺がん、慢性C型肝炎、ケロイド、新規2型糖尿病と遺伝子の関連を解明したプロジェクトの研究成果が発表されました。また、乳がん治療薬タモキシフェンの効果や重症の薬疹など、薬に関連する遺伝子の研究や解析手法の今後の展望についても報告がありました。

第2部では、中村祐輔プロジェクトリーダーによる基調講演が行われました。また、患者さんへの研究成果の還元について、女優のいとうまい子さんと一緒に考える対談のほか、薬疹に苦しんだ経験をもつ患者さんも交えた公開シンポジウムが行われました。

全体で約500名の方が参加されました。いただいた感想には、「専門用語や内容が難しかった」という声もありましたが、「病気と関係する遺伝子が少しずつわかってきていることが分かった」、「最新の情報が得られて満足した」、「今後の成果が楽しみになってきた」などの前向きな声もありました。



対談で広報誌「バイオバンク通信」について話しあういとうまい子さんと武藤香織さん



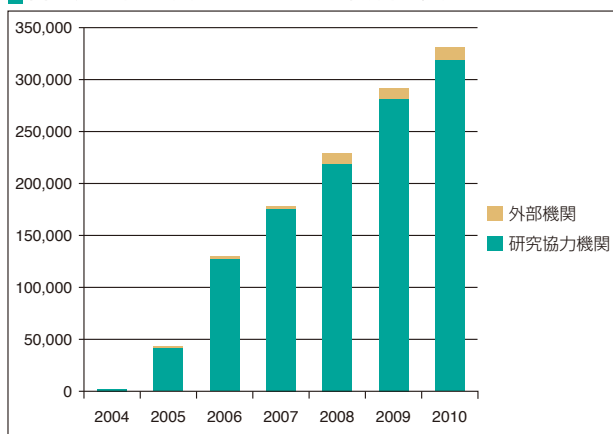
公開シンポジウム〔写真左から杉森純さん（読売新聞）、中村祐輔プロジェクトリーダー（東大）、久保充明さん（理研）、松田浩一さん（東大）、羽田明さん（千葉大）、湯浅和恵さん（SJS患者会）〕

のべ33万回DNA試料を活用させて頂きました。

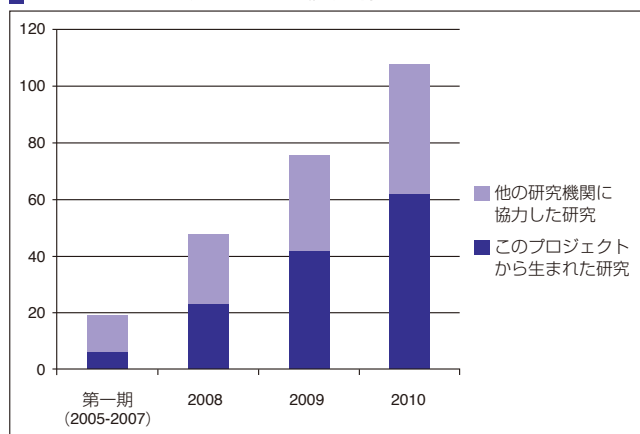
皆様から頂いた試料は必要な量に分け、協力研究機関（独立行政法人理化学研究所、東京大学医学研究所）や審査を受けた外部機関が実施するオーダーメイド医療の実現化を目指す研究に活用させて頂いております。

その成果として、2010年までにプロジェクトから、のべ108件の論文が学術誌に発表されました。

これまでにバイオバンクジャパンから
各研究施設に出荷されたDNA試料の数



バイオバンクジャパンから、
これまでに発表された論文数の推移



2010年度に発表された研究成果を裏面でご紹介しています。

プロジェクトにご協力いただき、ありがとうございます。

オーダーメイド医療実現化プロジェクト

バイオバンク通信 研究成果早見版

発行：平成23年（2011年）2月

<http://biobankjp.org>

2010年4月から11月までに報告された、オーダーメイド医療実現化プロジェクトの成果をご紹介します。

病気や体の状態に関連する遺伝子の解明

皮膚

ケロイドの発症に関連する4つの遺伝子を発見
(バイオバンク通信10号)

関節

関節リウマチ発症に関与する遺伝子を発見
(バイオバンク通信9号)

その他

ALSの発症に関連する遺伝子多型を大規模に探索

内臓

子宮内膜症発症に関連する遺伝子を発見
(バイオバンク通信10号)

前立腺がんへのかかり易さに関連する5つの遺伝子を発見
(バイオバンク通信10号)

前立腺がんへのかかり易さに関連する遺伝子の機能の一部を解明

2型糖尿病へのかかり易さに関連する2箇所の遺伝子領域を発見

肺腺がんに関連する遺伝子多型を発見
(バイオバンク通信10号)

脳動脈瘤発症に関連する3つの遺伝子領域の同定

薬の効果や副作用に関連する遺伝子の解明

乳がん術後治療薬タモキシフェンの効果に関連する遺伝子多型の解明

C型肝炎治療薬リバビリンの副作用（貧血）と治療効果に関連する遺伝子多型の解明

テレプレヴィルをペグインターフェロン、リバビリンと併用するC型肝炎治療の効果に関連する遺伝子多型の解明

ヒトのゲノムを比べる研究

遺伝子は、私たちの体に関する情報が書かれた「百科事典」のような存在です。この遺伝子の「百科事典」全巻の情報が人の「ゲノム」を構成しています。

たくさんの人の「ゲノム」を比べることで、ある病気や身体の状態を持つ人に特有の、「遺伝子の型」を明らかにすることができます。

それは、別々に刷られた百科事典から、一文字の違いを探す作業にたとえられるかもしれません。



イラスト：立川陽介

オーダーメイド医療実現化プロジェクト事務局
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1 東京大学医科学研究所内
電話：ファックス (03) 5449-5122
編集：東京大学医科学研究所
ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野
印刷：瑞穂印刷株式会社